軽井沢町版レッドデータブック策定検討部会（第６回）　会議録

１．開催日時　令和８年９月２８日（月）
　　１０：００～１２：００
２．開催場所　軽井沢町役場　２階　第３・４会議室
３．出席者
　委　　員：Ａ委員、Ｂ委員、Ｅ委員、Ｆ委員、Ｇ委員、
　　Ｈ委員、Ｉ委員（Ｃ委員、Ｄ委員 欠席）
　オブザーバー：自然保護審議会長
　理　事　者：副町長
　事　務　局：事務局Ａ、事務局Ｂ、事務局Ｃ、事務局Ｄ
　受　託　者：受託者Ａ、受託者Ｂ、受託者Ｃ
４．協議事項
（１）次年度のイベント・講演会等の内容について
（２）パブリックコメントの実施内容について
（３）レッドデータブックの作成イメージについて
（４）その他
５．傍聴人数　０名
６．議事内容　以下のとおり

１．開　会

【事務局Ａ】（●●●●●●）
皆様、ご多忙のところご出席いただきありがとうございます。【事務局Ａ】（●●●●●●）です。本日の会議冒頭の進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。定刻となりましたので、ただいまから軽井沢町版レッドデータブック策定検討部会を開催いたします。
本部会は、軽井沢町自然保護審議会条例第８条第６項の規定により、同条例第６条を準用します。委員９名のうち７名が出席であり、同条例第６条第２項に定める定数を満たしておりますので、会議は成立いたしました。なお、【Ｃ委員】（●●●●●●●●）、【Ｄ委員】（●●●●●●●●）からは欠席のご連絡をいただいております。
また、本日は【自然保護審議会会長】（●●●●●●●●●）に、オブザーバーとしてご参加いただいております。
続きまして、事務局より傍聴について報告いたします。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）でございます。よろしくお願いいたします。本日の傍聴者は０名です。

２．副町長あいさつ
【事務局Ａ】（●●●●●●）
それでは、【副町長】（小林　信嗣　副町長）よりご挨拶を申し上げます。

【副町長】（小林　信嗣　副町長）
本日はご多忙のところご出席いただきありがとうございます。また、日頃から軽井沢町版レッドデータブック策定業務に多大なご尽力を賜り、厚く御礼を申し上げます。
事業開始よりおよそ１年半が経過し、現在折り返し地点を迎えております。事業後半ではレッドデータブック策定が本格化するとともに、パブリックコメントやイベントなど、町民や別荘所有者の皆様にも参加していただく取組が増えてまいります。本日の議題にも挙がっている講演会は、多くの方に興味をもっていただける機会となります。幅広い年齢層の方に参加いただける内容となるように、委員の皆様から率直なご意見やアイデアを頂けますと幸いです。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

３．部会長の選任

【事務局Ａ】（●●●●●●）
それでは、次第に従い進めさせていただきます。続いて部会長の選任を行いますが、部会長が選任されるまでの間、議事進行を【副町長】（小林　信嗣　副町長）にお願いしたいと思います。

【副町長】（小林　信嗣　副町長）
それでは議事進行を務めたいと思います。部会長は、自然保護審議会条例第８条第３項の規定により、委員等が互選することとなっております。自然保護審議会の会長、副会長は、委員の皆様からの他薦や自薦による推薦、立候補をしていただきました。部会長の選任も同様にさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

（委員一同、異議なし）

【副町長】（小林　信嗣　副町長）
それでは、自薦、他薦を含めまして、立候補、推薦をお願いいたします。

【G委員】（●●●●●●●●）
これまでの経緯や実績を考えると、【I委員】（●●●●●●●）に継続して担っていただくことが良いと思います。自然のことに精通している方であるうえ、調査専門部会の脊椎動物部会と無脊椎動物部会を兼任されていることもあり、推薦いたします。

【副町長】（小林　信嗣　副町長）
ただいま部会長を【I委員】（●●●●●●●）にというご意見がありましたが、よろしいでしょうか。

（委員一同、異議なし）

【副町長】（小林　信嗣　副町長）
異議なしと認めます。それでは、【I委員】（●●●●●●●）に部会長をお願いします。部会長席にご移動いただき、ご挨拶をお願いいたします。

【部会長】（●●●●●●●●）
僭越ながら、ありがたく務めさせていただきます。今年は皆さんとお会いする機会も多く、その度に事業が進んでいるという実感があります。今後さらに具体的な議論が行われ、重要な場を任されると思いますが、引き続きどうぞよろしくお願いします。

【副町長】（小林　信嗣　副町長）
それでは、自然保護審議会条例第6条第1項の規定により、部会長が議長となりますので、【部会長】（●●●●●●●●）、以降の議事進行をお願いします。

４．部会長職務代理者の指名

【部会長】（●●●●●●●●）
それでは、次第に沿って進めさせていただきます。部会長職務代理

者の指名について、事務局からご説明をお願いします。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
自然保護審議会条例第８条第５項では、「部会長に事故あるときは、部会に属する委員等のうちから部会長があらかじめ指名する者が、その職務を代理する。」とされています。部会長から職務代理者の指名をお願いします。

【部会長】（●●●●●●●●）
部会長からの指名ということになっておりますので、私から指名させていただきたいと思います。引き続き、生物多様性やレッドデータブック作成への知見・経験を豊富にお持ちである【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（委員一同、異議なし）

【部会長】（●●●●●●●●）
それでは、【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）、引き続きよろしくお願いします。

５．協議事項

（１）次年度のイベント・講演会等の内容について

【部会長】（●●●●●●●●）
議題１について、事務局よりご説明をお願いします。

【事務局Ｃ】（●●●●●●●●●）
来年度は軽井沢町版レッドデータブックの周知及び関心・興味の向上を目的として、町内で講演会を２回、イベントを１回開催する予定です。開催内容案については、軽井沢町版レッドデータブック策定業務の受託者よりご説明します。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●●）
まず資料１をご覧ください。現在、現地調査を進めておりまして、軽井沢町にどのような動植物がいるのか、また、その中でどのような

ものが希少と位置付けられるのか精査を行っております。来年度は、先ほどご説明がありましたように、イベント等を開催して周知も行っていく予定です。

まず、令和９年４～５月頃に現在検討しているレッドリストを公開・周知して、パブリックコメントを実施することとなっております。また、パブリックコメントにあわせて、４月頃に１回目の講演会を開催する予定です。講演会では、軽井沢町版レッドデータブックや軽井沢町の自然について紹介いたします。さらに、令和９年４～８月頃にかけて町民参加型の生き物調査をイベントとして開催することを検討しております。詳細は後ほどご説明しますが、アンケートアプリを用いて町民から動植物の情報を集めることを考えております。

続いて、令和10年２～３月には２回目の講演会を予定しております。この段階ではレッドデータブックの完成に近づいていると思われますので、その内容について紹介したいと考えております。その後、３月にはレッドデータブックを完成させ、公開するという流れで今後取り組んでいく予定です。

第１回の講演会は「軽井沢町版レッドデータブックの取組について、多くの町民・別荘所有者の方に知ってもらい、興味を持ってもらうこと」を目的としております。取組の中では、町内の生き物への町民等の関心の向上を図るだけでなく、同時期に実施するパブリックコメント及び町民参加型の生き物調査の周知をあわせて行い、レッドデータブック関連イベントへの参加率の向上につなげることを考えております。対象者は町民と別荘所有者といった、町に関わりのある方になろうかと思います。講演会は、駐車場の有無やアクセスの良さを踏まえて、町内で大人数が集まることのできる施設を開催会場として確保したいと思います。講演会では町民参加型の生き物調査についてご紹介する予定ですが、そのプレ体験イベントもあわせて実施したいと考えております。そのため、会場は近くに公園がある場所を検討しております。今後、内容を具体化していく必要がありますが、現時点では、軽井沢町の自然環境に関わる基調講演やレッドデータブックのこれまでの取組紹介、パブリックコメントや町民参加型の生き物調査の紹介を想定しております。講演者の案も挙げておりますが、町にゆかりがあり、著名な生物関連の方にご講演いただけると良いと考えております。今のところ、【講演候補者】（●●●●●●●●●）、【講演候補者】（●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●）を候補として挙げさせていただいておりますが、本日の会議で他の候補もご提案いただき、最終的に調整をしていきたいと思います。

次のページに進みまして、2回目の講演会は令和10年２～３月頃に開催を予定しております。講演会では完成したレッドデータブックの中身をご紹介いたします。選ばれたレッドリスト種や重要な環境への理解と、保全に向けた意識の向上を目的として開催します。開催場所は町内の施設で検討しております。講演会には策定に関わっていただいている委員にお越しいただき、分類群ごとに調査結果や策定の様子についてご講演いただくことや、壇上で対談していただくことを検討しております。また、町民参加型の生き物調査にあわせて絵や写真のコンテストを実施し、そのコンテストの表彰式を講演会の中で行ってはどうかと思っております。会場には絵や写真の展示をしたり、レッドデータブック関連のパネルを展示したりすることもあわせて考えております。

次のページに移りまして、イベントとして実施する町民参加型の生き物調査の開催案です。イベントは、「レッドリスト候補種や身近な自然・生物に対する興味・ふれあいを増やしてもらう。」というねらいで実施します。また、レッドリスト候補種に関する情報の収集も兼ねて実施したいと思います。イベントでは、パブリックコメントで周知したレッドリストの候補種について、住民の方から情報を集めたいと考えております。集めた情報をレッドデータブック策定に反映するために、実施期間は令和９年８月までとしたいと思います。アプリを通して生き物の写真や確認場所等の情報を報告していただくような方法を検討しております。周知は、町のホームページや広報、講演会を通じて行いたいと思います。集まった写真や情報は事務局で精査し、レッドデータブックに活用できるようにしたいと考えております。対象種は、種数が多くなるかもしれませんが、レッドリストの候補種としたいと思います。

資料の説明は以上となります。

【部会長】（●●●●●●●●）

ただいまご説明のあった内容について、委員の皆さんからご質問、ご意見はございますか。

【Ｅ委員】（●●●●●●●●）

最後にご説明いただいた令和９年度のイベントの内容について、実施期間が令和９年４～８月とのことですが、もう少し延ばせると良いと思います。例えば、秋の遅めに咲く植物などは、９月に入ってからの方が、情報が集まりやすいと考えられます。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございました。私も同じ意見です。９月に入ってからの方が、希少なマルハナバチなどが観察できるので、９月上旬くらいまでには実施した方が良いと思います。
その他、ご質問、ご意見はございますか。

【Ｅ委員】（●●●●●●●●）
２枚目にある第１回講演会の実施場所については、「生き物調査のプレ体験イベントを実施できる公園等が近くにあるとよい。」とのことですが、例えば【自然環境】（●●●●●●●●●）周辺の町施設や【町内施設】（●●●●●●●）などはいかがでしょうか。その２か所であれば、周りにプレ体験イベントを実施できるような環境があるので、良いかなと感じました。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございました。委員の提案も含めて、検討する余地はまだありますか。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●●）
頂いたご意見も含めて調整していくことは可能だと思います。

【事務局Ａ】（●●●●●●）
第１回の講演会について、開催時期に統一地方選があるため、その期間は【町内施設】（●●●●●）が使用できない可能性があります。日程の変更も含めて検討していきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●●）
承知しました。場所や内容は町と調整して準備を進めていきたいと思います。

【Ｆ委員】（●●●●●●●●）
イベントについて、アンケートアプリを用いるとのことですが、具体的に使うアプリは想定されていますか。

【事務局Ｃ】（●●●●●●●●）

町で運用しているシステムである【アプリ】（●●●）を使って実施しようと考えております。その他のアンケートアプリと同様に、文字や写真の投稿ができるようです。

【Ｆ委員】（●●●●●●●●）
では、基本的には参加者が生き物の名前まで特定した上で、写真と一緒に投稿するという仕組みでしょうか。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
今のところは、あくまでも参加者に生き物の名前まで特定いただき、投稿する仕組みを考えています。ただし、広報の際に【アプリ】（●●●●●●●）の【画像認識機能】（●●●●●●●）など同定の補助となるようなアプリも紹介し、できるだけ精度の高い情報を集めたいと思っています。

【Ｇ委員】（●●●●●●●●）
その件に関連して、投稿者は他の方の投稿も見られるのでしょうか。それとも、他の投稿は見られず、事務局が情報を一元的に管理するのでしょうか。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
希少な種の情報を含むことが想定されますので、投稿された情報は事務局のみが閲覧できるようにしたいと考えております。ただ、参加していただいた方も結果が気になると思いますので、広報やホームページ、２回目の講演会で結果のご報告をしたいと考えております。

【Ｈ委員】（●●●●●●●●）
同じ件に関して、今回イベントとして実施するということですが、継続的に生き物の情報を集めるシステムがあっても良いと思います。今から長期的に使えるようなシステムとして組んではいかがでしょうか。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
今後のレッドデータブックの見直しにも関わってくると思われますので、今回の情報収集とは別に継続して収集ができるように考えていきたいと思います。

【Ｅ委員】（●●●●●●●●）
レッドデータブックが完成した後もこのイベントを続けることができれば、希少な種を探すきっかけづくりになると思います。実施にあたっては、参加者がどんどん探したくなるような仕掛けづくりが重要です。例えば、たくさんの種類・情報を集めるとバッジがもらえる、または、ランクが上がるというような仕組みが良いでしょう。

【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）
【アプリ】（●●●●）など生物情報収集用のアプリなどは使用しないのでしょうか。
長期間運用するならば、種名の特定機能がある専用のアプリも選択肢の一つに加えてはどうかと思いました。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
種の特定支援やリクエストの設定などメリットも多く、専用アプリの使用も検討しましたが、今回は情報の取り扱いの観点や費用面も鑑み、まずは町で独自に運用できるアプリを使用した形で進めることを想定しています。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
町民参加型の生き物調査について、特定外来生物についても情報収集し、町民からの報告をとりまとめて町のホームページに公開するというようなことができないでしょうか。希少な種については取扱いが難しく、情報を公開すると採取されることもあります。一方で、特定外来生物はそのような心配はないです。その点も踏まえて、町の体制を考えていただければと思います。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
希少な種と特定外来生物を対象として同時期に情報収集を実施してしまうと、趣旨が難しくなるので、切り分けて検討していきたいと思います。特定外来生物に関しては、どのように情報を収集していくか自然保護対策係とともに検討していくべき課題だと理解しています。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
切り離して実施することで全く問題ないと思います。ただ、今後、特定外来生物のことも含めて環境課として対策を練ってほしいと思

います。

【部会長】（●●●●●●●●）
例えば手近なところにオオハンゴンソウがあれば、イベントの時に参加者に見ていただき、特定外来生物についても覚えてもらえるようにすることもできると思います。
私の方からも、講演会について個人的な意見として申し上げたいのですが、基調講演の候補者のうち【講演候補者】（●●●●●●●●）は、【学問分野】（●●●●●）を専門とされ、【専門分野】（●●●●●●●●●●●●●●）を研究されている方と承知しています。今回の講演会では、レッドデータブックに関連して、かつて草原や湿原が広がっていたことなど、軽井沢町の自然環境の特徴や、その保全について町民の皆様に知っていただくことも大切だと考えています。そのため、講演で取り上げていただきたい内容を整理した上で、生態系生態学や保全生態学の専門家、地域で保全活動に取り組まれている方も候補に加えて検討してはいかがでしょうか。
具体的な候補者としてお二人ほど挙げておきます。一人は【講演候補者】（●●●●●●●●●●●●●●）です。草原を中心とした【学問分野】（●●●●●）の第一人者です。ご存知の方も多いと思いますが、子どもの頃から軽井沢町によく来られていて、軽井沢の草原環境へご関心が高い方です。生物多様性ネットワークのお話を軽井沢にあてはめてしていただけるのではないかなと思います。何度も軽井沢で講演されています。それからもうお一方は、【講演候補者】（●●●●●）です。【長野県内市町村】（●●●）の元職員の方で、市民をリードしてチョウの保護活動をしておられます。例えば、草原性のオオルリシジミ、森林性のハヤシミドリシジミ、それから高山性のミヤマシロチョウを対象とされており、いろいろな環境の保全について造詣が深い方です。いつも市民をリードして、市民ベースでやってこられているので、例えば軽井沢の場合、町民としてどう動いたら良いのか、どう参加したら良いのか、町民として何ができるのかというようなことのヒントを与えていただけるのではないかなと思いました。ちなみに、ハヤシミドリシジミは軽井沢にも記録がありますが、この半世紀ほど見つかっていません。それはなぜなのかということもお聞きできるかもしれません。今週末も【展示施設】（●●●●●●）で講演が予定されていますが、非常にお話の上手な方です。今回はレッドデータブックに関連する講演会なので、保全生態や、いろいろな環境の紹介、町民の行動を変えていくきっかけになるようなお話にな

れば良いのではないかと思い、提案させていただきました。ご検討よろしくお願いします。

（２）パブリックコメントの実施内容について

【部会長】（●●●●●●●●）
それでは次に進みたいと思います。議題２について、ご説明をお願いします。

【事務局Ｃ】（●●●●●●●●●）
それでは、資料２をご覧ください。軽井沢町版レッドデータブックに関するパブリックコメントにつきましては、令和９年の４月～５月にかけて１か月間実施する予定です。このパブリックコメントでは、軽井沢町版レッドリストの候補種の一覧を公表して、レッドリスト種の選定に関わる意見を募集します。なお、公表時にはカテゴリーの判定まではせず、レッドリスト候補種のリストとして公開したいと考えています。このような形でパブリックコメントを実施することとしました経緯についてご説明します。レッドリストはレッドデータブックの中核をなすものであるため、町民等の皆様の知見をできるだけ反映することが重要であると考えています。実施予定時期の４月～５月は一次選定種が取りまとめられていて、ちょうどカテゴリー評価の前の段階になるかと思います。この時期に意見募集を行うことで、地域に詳しい方々からの情報や観察記録をカテゴリー評価のプロセスに反映しやすくなると考えています。今回はレッドリストの候補種一覧のみのパブリックコメントになりますが、こうした候補種について町民から意見を頂くことの重要性を考えて、こういった形での実施を考えています。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございました。パブリックコメントについてご質問、ご意見がある方はいらっしゃいますか。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
現在、「樹木管理及び緑化に関する基本方針（案）」に関するパブリックコメントを実施していると思いますが、ホームページを検索してもなかなかたどり着けません。これは副町長にお願いしたいのですが、ホームページを見たときに、現在実施しているパブリックコメントが

新しい順番で出てくるようにホームページを作っていただきたいです。現在は、検索すると古いものから出てきて、実施しているものが分かりづらいです。普通の人が関心を持ったときにすぐに見つけられるようなホームページにして欲しいなと思っております。

【副町長】（小林　信嗣　副町長）
パブリックコメントで検索したら古いものが出てくるということですね。情報推進課に確認して、対応可能か検討いたします。

【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）
パブリックコメントは一回だけということですが、あまり意見がでなさそうだというのが正直な感想です。やることに意義があるという側面もあるので、内容についてはご提案のとおりで良いと思いますが、もう少し趣旨や目的など変えられない部分以外の、今後どう使うか、今後どうしていくかについて、町民からあわせて意見を聞いてはどうでしょうか。もう少し募集する意見の幅を持たせることは可能でしょうか。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
基本的に、パブリックコメントというものは、出来上がったものに対してのご意見を求めるものでありますので、策定後の話まで含めてしまうと論点がぶれる可能性があります。そのため、今回に関しては作成したレッドリストについての意見を募集するということにしたいと思っております。今後の使い方などに関しては、講演会やイベントでご意見を伺っても良いのかなと考えています。

【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）
今後どう使いたいかを記載した資料を作ればパブリックコメントができるのではないかと思いますが、そういうお考えであれば仕方ないですね。ただ、せっかくの機会なのに、あまり意見がないまま終わるととてももったいないと思います。少しご検討いただきたいと思いました。

【部会長】（●●●●●●●●）
現状ではパブリックコメントを実施しているということも分かりにくく、ご意見も期待できないということを踏まえて、より広く知っていただく手立てを事務局にも考えていただきたいなと思います。講

演会がパブリックコメントの時期と重なることをできるだけ活かしてください。

【Ｆ委員】（●●●●●●●●）
パブリックコメントに関して、長野県でも実施した経過があったので、その時の経験から申し上げると、レッドリストを公表しても、そのリストの中身がわかる方でなければコメントがしづらく、リスト自体を見慣れない町民の方も多いのかなという気がします。候補種のリストとあわせて、載せられるものは写真を載せる、わかりやすく説明するなど工夫して、意見を出しやすくするということはできるかなという気がいたします。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
事務局としても、おっしゃるとおりレッドリストだけでは目を引かない上、専門家の方しか内容が分からないだろうと考えています。見やすさには注意をしたいと考えています。

【部会長】（●●●●●●●●）
他の自治体の事例を見ていただき、幅広く先進的な事例を参考にしていただければと思います。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
レッドリスト候補種の中で特記すべきものを、別枠でリストにまとめてはいかがでしょうか。一般的に全国レベルで希少種であるということではなく、軽井沢町の特色を持った動植物をまとめれば、意見を出さないまでも、パブリックコメントを見た人が軽井沢の特色について理解できると思います。結果が多くなるかどうかとは別に、興味を引く内容にしていただけたら良いと思います。

【Ｅ委員】（●●●●●●●●）
パブリックコメントでは選定種やそのカテゴリーに関わる意見を募集するということですが、どのような意見を想定しているのでしょうか。例えばこの種類はレッドリストに入れるべきだとか、入れるべきではないとか、この種類は絶滅危惧にするべきだとか、そういった意見を想定されているのでしょうか。

【事務局Ｃ】（●●●●●●●●）

例えば、こういう場所にも選定種がいるというようなご指摘や、こういう種類もレッドリストに入るのではないかというようなご意見を想定しています。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
あわせてレッドリストの候補種に加えるべき種についてもご意見があれば頂きたいです。また、候補種について、昔は見たけれども、もういなくなってしまったというようなご意見を頂ければ、カテゴリー評価の参考になると考えています。

【Ｇ委員】（●●●●●●●●）
私も写真があると良いと思います。また、資料２に現在確認されているものの総数が5,332種類あって、そのうちのおよそ1,000種類が候補種として挙げられていると書かれていますが、確認された種の約20％が絶滅の危機にあるということも町民の皆さんに知ってもらうことが大事だと思います。このパーセンテージをどこかで触れておいてもらえれば、多少なりとも危機感が伝わるのではないかなと思いました。
パブリックコメントは４月から５月の約１か月間で実施され、レッドリスト候補種の選定や、そのカテゴリーに関わる意見に特化して募集されるのだと思いますが、重複して４月から８月にかけて町民参加型の生き物調査を実施することになっていますので、そこでもパブリックコメントに通じるような情報が入ってくるのではないかと期待しています。パブリックコメントだけでなく町民参加型の生き物調査でもレッドリストに活用できるような情報が集まれば、結果をレッドリストに反映していただきたいと思います。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
現在調査されていて、絶滅、野生絶滅、情報不足に相当するものは、特に情報がほしい特別枠としてまとめて紹介した方が良いと思います。カテゴリーを付けない状態でパブリックコメントを募集されるということなので、そのことをお願いしたいです。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
皆さんからご意見が出たように、パブリックコメントと町民参加型の生き物調査の期間が重複していますが、パブリックコメントで頂きたい情報が、アプリを通した方が収集しやすいということを踏まえて

開催時期の設定をしました。ただ、ご意見を頂いたように、町民参加型の生き物調査の対象が1,000種程度と多くなるので、レッドリストだけを公表して情報を集めますという呼びかけをしても、投稿が難しいと思います。調査内容の紹介や特に情報を頂きたい種類を写真入りの説明資料としてまとめて添付することが必要になると考えております。また、パブリックコメントの資料にカテゴリーの案が入っていれば、より情報が集まる可能性もあると考えています。パブリックコメント、町民参加型の生き物調査を行う際には、特に情報がほしい種類を紹介するといった工夫を講じたいと思います。

（３）レッドデータブックの作成イメージについて

【部会長】（●●●●●●●●）
議題３では、現時点におけるレッドデータブックの作成イメージをご覧いただき、委員の皆様から率直なご意見を伺いたいと思います。資料３について、受託者より説明をお願いします。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
レッドデータブックの構成や紙面のイメージ案として、今回の資料を提示しています。これまでも会議の中で、目次構成や掲載内容を図表などでお示ししてきましたが、具体的なイメージをつかみにくい部分もあったかと思います。そのため、今回は仮のデザインを入れた資料をお配りしています。
表紙の写真については、軽井沢らしい自然環境が伝わるものを使用できればと考えています。今後、適した写真を撮影・収集していく予定です。タイトルや見出しの表現も仮のものであり、「重要な環境」という言葉も含めて、引き続き検討しています。また、各章には扉ページを設ける構成を想定しています。
第１章では、軽井沢町版レッドデータブックとはどのようなものかを簡潔に説明したいと考えています。
第２章では、軽井沢町の自然環境の特徴を紹介します。この点については、これまでの会議でもさまざまなご意見を頂いています。紙面をどの程度確保し、詳しく整理できるかは未定ですが、地形の成り立ちや火山との関係、かつて湿地や草地が広がっていたこと、別荘地の形成に伴って森林が育ってきた経過などを示せればと考えています。また、標高が高く冷涼な気候であることや、水が豊かであることなども紹介したいと考えています。

第３章では、軽井沢町に生息・生育する動植物を紹介します。当初から全種目録の作成を予定しており、先ほどのパブリックコメント資料にも記載したとおり、現時点では動植物合わせて約5,300種をリストとして整理しています。これらの動植物の特徴について、どの程度詳しく紹介するか、委員の皆様にもご相談しながら内容を検討していきたいと考えています。掲載内容としては、確認された種類の特徴や、軽井沢町にゆかりのある生物の紹介などを想定しています。また、外来種についても少し記載してよいのではないかと考えています。全種目録の掲載方法は、その分量を踏まえて検討します。本冊に収録すると相当なページ数になる可能性があるため、今後整理していきます。動植物に加え、今回は植物群落もレッドリストの選定対象としています。その過程で整理した情報を基に、町内にどのような植生があるのかを説明するとともに、シカによる影響などの課題についても触れられればと考えています。

第４章は、本書の中心となるレッドリスト種の紹介です。説明が過度に重くならないようにしながら、レッドリスト種とは何か、どのような基準で選定したかを説明します。その後、先ほどお示しした表などを用いて選定種数を整理し、選定した植物群落についても紹介する流れを想定しています。種の紹介は、分類群ごとに示すと分かりやすいと考えています。例えば哺乳類であれば、まず選定された種類の概要を説明し、その後、各種を図鑑のような形式で紹介する構成です。種数が多いため、写真をどの程度掲載するかは、収集状況を踏まえて相談しながら検討します。写真や特徴など、種を紹介する項目についても、現時点の案を資料に示しています。生息・生育場所を示す地図については、これまでも議論してきました。地図の掲載方法も含め、今後具体的にご相談していきたいと考えています。続くページには、分類群ごとの区切りや見出しの示し方として、帯状のデザイン案を掲載しています。

第５章は、仮に「重要な環境」としていますが、タイトルは引き続き検討しています。軽井沢町の生態系や、その中でも重要な場所、いわゆるホットスポットを紹介する章として考えており、見出しについても本日ご意見を頂ければと思います。軽井沢町には、標高が高く冷涼な気候や火山活動の影響などを背景に、森林、草地、農地周辺、河川、湖沼、湿地といった多様な環境があることが、調査を通じて整理されてきています。この章では、それぞれの環境の特徴や、そこに暮らす生き物同士のつながりを紹介するとともに、環境ごとに代表的な場所を数か所ずつ取り上げる構成を考えています。また、それぞれの

環境に見られる希少種や、保全上の課題についても記載できればと考えています。
最後の資料編には、策定の経緯や体制、参考・引用文献の一覧などを掲載する予定です。策定の経緯をどこまで詳しく記載するかや全種目録の扱いについては、今後検討します。
裏表紙についても、町内で見られる環境と、そこに生息・生育する生き物を組み合わせたデザインを考えています。
まだ全体のイメージを示した段階ですが、資料の説明は以上です。

【部会長】（●●●●●●●●）
ご説明ありがとうございました。それでは、レッドデータブックのイメージについて、ご意見を伺いたいと思います。まずは前半の第１章から第３章までについて、ご質問やご意見があればお願いします。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
第１章で、「30by30」についても簡単に触れておいた方がよいと思いますが、いかがでしょうか。

【部会長】（●●●●●●●●）
はい、いかがでしょう。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
ご意見を踏まえ、どのように取り扱うか、今後検討させていただきます。

【部会長】（●●●●●●●●）
受託者として、何かお考えはありますか。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
「30by30」については、策定の目的との関わりや、関連する取組の参考資料としての位置づけと絡んで、少し記載できると考えています。
軽井沢町では「生物多様性地域戦略」の策定を予定していると伺っていますので、そちらと内容の重複が気になるところもありますが、町とも相談しながら調整していきたいと考えています。

【部会長】（●●●●●●●●）
内容を書き進める中で、柔軟に対応していただければと思います。

その他、ご意見はありますか。

【Ｆ委員】（●●●●●●●●）
以前にも伺ったかもしれませんが、内容の検討に入る前に、レッドデータブックの公開方法について確認させてください。今回は冊子の体裁でご紹介いただいていますが、町民の皆様に向けて、Web版も公開する予定だったかと思います。Web版は、本の内容をほぼそのままPDF形式で掲載する予定でしょうか。それとも、Web用のページを別途作成する予定でしょうか。

【事務局Ｃ】（●●●●●●●●●）
ホームページ上にPDF版を掲載する形式と、本の体裁を保ったまま閲覧できるWebブック形式の、２つの公開形式を考えています。

【Ｆ委員】（●●●●●●●●）
基本的には、冊子と同じ内容を公開するというお考えでしょうか。

【事務局Ｃ】（●●●●●●●●●）
そうなります。

【部会長】（●●●●●●●●）
レッドデータブックの冊子と同じ内容をPDF化して公開することが想定されているということですね。

【Ｆ委員】（●●●●●●●●）
Webであれば、検索機能を充実させ、環境や種類、分類群名などで検索できるようにすることも可能かと思います。一方、Webブック形式では、そうした機能を設けるのは難しいのではないかと思います。Webで公開する利点も考慮しながら検討いただけますとありがたいです。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
検討させていただきます。

【部会長】（●●●●●●●●）
以前の部会では、概要版ではなく本編の冊子については、発行部数が限られるため、特定の事業者など、必要な方に配布すると伺ったか

と思います。一方、Webでは、本編と同じ内容を誰でも閲覧できるようにする方針でしょうか。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
その方針です。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございます。その他、第１章から第３章について、ご質問やご意見はありますか。

【Ｇ委員】（●●●●●●●●）
細かい意見と要望になりますが、今回の資料はあくまでたたき台として作成されたものと承知しています。第２章「軽井沢町の自然環境の特徴」の中表紙の写真については、できれば森林ではなく、草原の写真を使用していただきたいと思います。軽井沢には、うっそうとした森というイメージがあると思いますが、自然環境の特徴を示すのであれば、草原の方が適しているのではないかと感じました。
また、第３章の「軽井沢町に生息・生育する動植物」には、哺乳類、鳥類、爬虫類が項目として記載されていますが、この後に昆虫など、ほかの分類群も並ぶという理解でよろしいでしょうか。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
そのとおりです。

【Ｇ委員】（●●●●●●●●）
はい、分かりました。

【部会長】（●●●●●●●●）
ご要望と確認でした。第３章までのところで他にご意見はないですか。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
私が分かるのは植物についてですが、絶滅危惧種の植物がどのような生態系に多く分布しているのかを、円グラフなどで示すとよいのではないかと思います。生態系ごとの分布割合が一目で分かるようにしていただければと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございます。環境と希少種の割合の関係を視覚的に分かりやすく示してほしいというご提案ですので、ご検討をお願いします。
その他、ご意見はいかがでしょうか。

【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）
第１章について、想定する読者にもよりますが、このレッドデータブックの使い方を説明する項目があってもよいのではないかと思います。
例えば、一般の町民の方がどのように活用できるかなど、読者の立場に応じた使い方を示すとよいと思います。そうした説明がないと、手に取った方がどのように活用すればよいか戸惑うこともあると思いますので、ご検討いただければと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございます。「目的」の項目に盛り込むだけでは埋もれてしまうため、この本の使い方が分かりやすく目に付くように別項目を立てるなど工夫するとよい、というご提案でした。
その他、ご意見はいかがでしょうか。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
先ほどのご意見とも関連しますが、映画の予告編のように、レッドデータブックを紹介する短い動画のようなものを作成できないでしょうか。
例えば、町としてレッドデータブックを作成することの先進性や、自然を将来に残していくためのまちづくりへの思いなどを伝える内容が考えられます。具体的な内容は別途検討が必要ですが、予算の都合もあると思いますので、ご検討いただければと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
斬新なアイデアをありがとうございます。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
動画の作成は現在の契約に含まれておらず、予算の制約もあるため、現実的には難しいと考えています。

【部会長】（●●●●●●●●）

動画があると興味を引き、目に留まりやすくなると思います。その他、ご意見はいかがでしょうか。

【事務局Ａ】（●●●●●●）
先ほどの【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）のご意見に関連して、私からもお伝えしたい点があります。第３章までということでしたので控えていましたが、第４章の扉ページの次のページの右側にある、カテゴリー評価基準の表についてです。
専門知識のない私のような素人がこの表を見ても、危機感が伝わりにくいと感じます。例えば、表の右側に現在の気象情報のような「レベル」を示すことで、専門家だけでなく、一般の町民の方にも分かりやすくなるのではないでしょうか。
また、各動植物種の説明でも、国や県ではどのカテゴリーに該当し、軽井沢町では「絶滅」に該当するといった違いが、視覚的に伝わる表現を工夫していただければと思います。子どもたちにも分かりやすく示すことで、手に取って活用してもらえるものになるのではないかと考えています。
【Ａ委員】（●●●●●●●●）からご提案のあった動画にも関連しますが、レッドデータブックは、国が作成したものに準拠した構成になりがちだと思います。一方、軽井沢町では近年、各種計画を作成する際に、冒頭に全体像が分かる導入部分を設けることを重視しています。今回も、そのような発想を取り入れていただければと思います。
例えば、動画をホームページで公開するだけでなく、冊子に二次元コードを掲載し、まず動画を見てから本文を読み進めてもらうといった工夫も考えられます。費用面の課題もありますが、今後協議させていただければと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございました。他にご意見はありますでしょうか。

【Ｅ委員】（●●●●●●●●）
今回のイメージ資料はＡ４用紙に２ページずつ印刷されていますが、実際に作成するレッドデータブックは、どのくらいの大きさになる予定でしょうか。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●）
Ａ４版・縦型の体裁を想定しています。

【部会長】（●●●●●●●●）
その他にご意見がなければ、第４章、第５章について、ご質問やご意見を伺いたいと思います。もちろん、前の章に戻っていただいても構いません。発言をお願いします。

【Ｂ委員】（●●●●●●●●）
これまでの皆様のご意見にもあるとおり、専門家以外の方にどれだけ分かりやすく伝えられるかが重要だと思います。レッドリストは種名や種数が中心となるため、専門家の領域と受け止められがちです。議会でも、「なぜ今この取組を行うのか」という反応があり、その必要性が十分に伝わっていないと感じています。
そのため、今回のレッドデータブックには、掲載されている種が、何が原因で、どのような経過をたどって絶滅の危機に至ったのかが分かる説明があるとよいと思います。また、掲載する箇所は検討が必要ですが、軽井沢町の自然環境がこれまでどのように変化してきたか、その変遷が分かる資料も必要ではないでしょうか。
軽井沢町では移住者も増え、人の入れ替わりも多いため、過去の環境やその変化を知らない方もいらっしゃいます。これまでの経過を踏まえ、今後の軽井沢の環境をどうしていくかを議論するきっかけとなるような流れがあるとよいと思います。
個々の動植物の種類については分からなくても、開発や環境については、多くの方が関心を持ち、意見を述べられます。そうした面からも関心を持っていただける資料にしていくとよいと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございます。それぞれの種が絶滅危惧種となった経緯があるはずですので、その理由を知りたいという点も、ご意見を参考にご検討いただければと思います。
その他、第４章、第５章に関して、ご質問やご意見はありますか。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
【Ｂ委員】（●●●●●●●●）のご意見にも関連しますが、このレッドデータブックの中に短いコラムを入れることは可能でしょうか。昔の様子などを紹介するコラムがあれば、読み物としても楽しめると思います。紙面などの制約もあるかと思いますが、掲載が可能かどうか伺いたいです。

【部会長】（●●●●●●●●）
概要版との兼ね合いもあると思いますが、そちらでの掲載も含め、いかがでしょうか。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
コラムについては、これまでの会議でもご提案を頂いていますので、紙面の空きスペースを活用することも含め、盛り込んでいければと考えています。各章に関連する情報を掲載できる構成にしていますので、具体的なトピックや内容を随時ご確認いただきながら、来年度に精査していきたいと考えています。
先ほどの【Ｂ委員】（●●●●●●●●）のご意見にも関連しますが、希少種や重要な環境を紹介すると、その先の内容も知りたくなると思いますし、理解を深めることも大切だと考えています。まずは現状を整理し、町内にどのような動植物や環境があり、どの種が希少で、何が重要なのかを伝えたいと考えています。あわせて、課題についても記載する必要があると思います。第５章では、それぞれの環境を紹介する中で、現在の課題についても環境ごとに書き込めると考えています。また、環境の変遷については、どこまで詳しく扱うか検討が必要ですが、第２章の中で、土地利用の変化なども含めて記載できると考えています。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございました。策定作業の前から絶滅が危惧されていた種もあれば、今回の調査で初めて状況が明らかになった種もあると思いますので、そうした点を今回の調査の成果として示してもよいのではないかと思いました。
その他、ご意見はありますか。

【Ｅ委員】（●●●●●●●●）
第４章の選定種の紹介ページには、減少要因が記載されると思いますが、複数の種で同じような内容が並ぶのではないかと思います。
そこで例えば、草原環境の減少を要因として選定された種が何種類あるかなど、減少要因ごとに種数を別枠で示すと、軽井沢の自然環境の課題や、生物多様性が失われている原因を分かりやすく伝えられるのではないかと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございます。先ほど【Ａ委員】（●●●●●●●●）からも円グラフのご提案がありましたが、減少要因などが一目で分かるページがあってもよいと思いますので、ご検討をお願いします。

【Ｆ委員】（●●●●●●●●）
先ほどの減少要因のお話に関連して、２点意見があります。
１点目は、第４章の各種の解説における減少要因の示し方についてです。今回のサンプルでは文章での記述を想定しているように見えますが、【Ｅ委員】（●●●●●●●●）のご指摘のとおり、複数の種で減少要因が重複することを考えると、要因ごとにアイコンやシンボルマークを定め、それを並べる方法もあると思います。他地域にも事例があり、同じ言葉を繰り返すよりも視覚的に分かりやすくなると思いますので、工夫をご検討いただければと思います。
２点目は、必要な保全対策の記載についてです。レッドデータブックを活用する際、減少要因が分かると、次にどのような対策を取ればよいかを知りたい方も多いと思います。減少していることやその要因だけでは、今後どのように対応すればよいかが伝わりにくいため、必要な保全対策についても記載できるとよいのではないでしょうか。種ごとに記載できるかは分かりませんが、理想的には、配慮してほしい点や取るべき保全対策まで示せると、よりよいと思います。種ごとの記載項目をこの場で議論するのか、調査専門部会で検討するのかは分かりませんが、この点も含めてご検討いただければと思います。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
踏み込んだご意見を頂き、ありがとうございます。レッドリスト掲載種については、絶滅危惧の要因をある程度分類し、種ごとにどの項目が該当するか、委員の皆様にもご協力いただきながら整理したいと考えています。これにより、要因ごとの種数を把握できるため、ご提案のあったグラフの作成も可能になると考えています。
一方、保全対策については、どこまで詳しく記載できるか検討が必要です。種ごとに記載すると、同じような内容が繰り返される可能性もあると考えています。現時点では、第５章の中で、環境ごとに保全上の留意点などを示すことを想定しています。例えば森林であれば、環境や生態系、そこに生息・生育する種の紹介とあわせて、現状や保全上の留意点、考えられる取組の事例などを記載し、保全に向けた対応が伝わるようにできればと考えています。

【Ｂ委員】（●●●●●●●●）
第２章に戻りますが、「気象」の項目に、軽井沢の過去の気温の変化を示す資料を掲載してはどうかと思います。動植物の減少には、環境の変化に加え、気温の上昇も影響している可能性があると思います。気温の推移を示すことで、温暖化と動植物の減少との関係についても考えていただくきっかけになるのではないかと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
ありがとうございます。気温の上昇が減少要因となっている可能性のある種もあると思います。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
補足ですが、分類群ごとに、選定された種の全体的な概要を説明する文章を入れたいと考えています。例えば哺乳類であれば、選定された種に共通する主な減少要因や、必要な保全対策などを記載できると思います。温暖化やシカによる被害など、減少要因は分類群によって異なることも考えられますので、そうした点についてもコメントを頂き、盛り込むことができると考えています。

【部会長】（●●●●●●●●）
最近の内閣府の調査でも、「生物多様性」という言葉はある程度浸透しているものの、まだ行動には十分につながっていないという結果が示されていました。
保全対策を示す際には、誰が取り組むのかという点も含め、町民がどのような行動を取ればよいのか、自分にできることは何かが分かる内容になるとよいと思います。来週のイベントでも町民の理解や意識の向上が掲げられていますが、具体的な行動につながる内容にすることで、より活用しやすいものになると思います。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
レッドリストに掲載された種や、その生息・生育場所が、法的にどのように保護されているのかを簡単に記載していただきたいと思います。例えば、【自然環境】（●●●●●●●●）が町の天然記念物に指定されていることや、国立公園・国定公園として保護されている区域などを示せるとよいと思います。
法的な保護の状況と、実際に種や環境が置かれている危機的な状況

が、必ずしも対応していないと感じていますので、その関係が分かるとよいと思います。軽井沢町ではさまざまな場所に希少種が分布しているため、地図で示すと複雑になるかもしれませんが、法的な保護の状況も盛り込んでいただければと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
必要な対策と、既に講じられているはずの対策が分かるようにする、ということでしょうか。示し方を工夫すれば盛り込めると思いますので、ご検討をお願いします。

【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）
「その他植物」という見出しが少し気になりました。地衣類、蘚苔類、菌類などを指していると思いますが、それらを具体的に記載しないのでしょうか。どちらでもよいのですが、「その他植物」だけでは、何を指すのか分かりにくいのではないかと思いました。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
これまでの会議でも、調査対象とする分類群の範囲や、それぞれをどこまで個別に紹介するかについて議論してきました。「その他無脊椎動物」「その他植物」という見出しだけでは内容が分かりにくいため、括弧書きで代表的な分類群を示すなどの工夫が必要だと考えています。
「その他」としてまとめている分類群には、全種目録を作成できるほど網羅的に調査・整理した上でレッドリストを選定することが難しいものもあります。そのため、現時点では、町内に生息・生育することが分かっている希少な種類を紹介する方向で進めています。掲載対象の分類群を明示するとともに、全網羅的な調査・整理に基づくものではないことも伝わるよう、記載を工夫したいと考えています。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）
菌類は動物にも植物にも属さない分類群ですので、その点にもご留意いただければと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
その他、ご意見はありますか。私からも意見を申し上げます。植物群落については、調査を進めていただいていますので、ぜひ掲載していただきたいと思います。あわせて、動物群集や繁殖集団、個体群に

ついても、取り上げるべきものがあれば掲載してもよいのではないかと思います。例えば、ほとんどが私有地ですが、軽井沢町南部の水田や池沼に見られる水生昆虫やカエル類などが考えられます。ただし、これらは第５章で扱うことも考えられますので、今この場で議論を求めるものではありません。第５章の重要な環境や生態系の紹介の中で、南部地域などに残る、かつての豊かな自然に由来する生き物の生息場所を取り上げる方法もあると思います。

また、第５章では森林、草地、裸地などが挙げられていますが、以前、調査専門部会の委員からご提案のあった「市街地」も加えていただきたいと思います。市街地には普通種が多いと思いますが、それらが集まることで、軽井沢らしい生物群集を形成していると考えられます。生物群集という考え方や、市街地にも軽井沢ならではの特徴があることを知っていただくよい機会になると思いますので、ご検討をお願いします。

その他、資料編も含めて、ご質問やご意見はありますか。

【Ａ委員】（●●●●●●●●）

市街地に加えて、別荘地も一つの区分として設けた方がよいのではないかと思いますが、いかがでしょうか。

【部会長】（●●●●●●●●）

森林にも、人の手があまり入っていない状態に近い地域と、普通の別荘地があると思います。今後、内容を具体化する中で、区分を分ける必要があるか検討していくことになると思いますので、改めてご意見を頂ければと思います。

【Ｅ委員】（●●●●●●●●）

私も【Ａ委員】（●●●●●●●●）のご意見に賛成です。下層植生があり、落ち葉が積もっている森林と、別荘地の庭では、生育する植物にも違いがあるという印象を持っています。特に軽井沢の古い別荘地には、落ち葉が除去された苔庭などが見られますので、こうした場所も軽井沢の特徴的な環境の一つとして取り上げるとよいと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）

植物の観点から、別荘地とそれ以外の環境の違いについて、地元で植物のことをよくご存知の【事務局Ｄ】（●●●●●●●●）はどの

ような印象をお持ちでしょうか。

【事務局Ｄ】（●●●●●●●●）
確かに、別荘地内の樹林や庭と、その周囲の森林では、様相が大きく異なります。ただ、今回の町のレッドデータブック全体のコンセプトとは、少し論点が異なるようにも感じています。別荘地の環境を、軽井沢の自然環境の一つとしてレッドデータブックで紹介するかどうかは、議論が必要だと思います。個人的には、分けて扱った方がよいのではないかと考えています。別荘地など、人が管理している場所の樹木については、別途、町でもガイドラインのようなものが予定されていますので、そちらで議論する内容ではないかという印象もあります。まだ考えが十分にまとまっていませんが、現時点ではそのように感じています。

【部会長】（●●●●●●●●）
別荘地や水源、水田については、町としての扱いも検討する必要があると思いますので、その点も含め、今後ご検討をお願いします。

【事務局Ｂ】（●●●●●●●●）
【事務局Ｄ】（●●●●●●●●）のお話のとおり、樹木については植栽のガイドラインを作成する予定です。また、生物多様性地域戦略も来年度から策定する予定ですので、これらの中でも取り上げる内容があると思います。内容が重複しすぎないよう、それぞれの役割を整理しながら進めていきたいと考えています。

【事務局Ｄ】（●●●●●●●●）
補足ですが、別荘地の庭によく見られる絶滅危惧種が確認された場合には、その生育環境も含めてレッドデータブックで取り上げるべきだと思います。

【Ｆ委員】（●●●●●●●●）
記載の仕方によっては、第２章の生態系の概要と第５章の内容が重複する可能性があると思います。それぞれの章に何を掲載するかを整理し、第２章は簡潔な概要にとどめ、詳細は第５章を参照する構成にするなど、内容を区別していただくとよいと思います。
また、今回は構成の大まかな案をお示しいただいていますが、具体的な内容が示されれば、委員の皆様からもさらに意見が出ると思いま

す。レッドリストの選定については、調査が続いており、調査専門部会で今後検討する部分もあると思いますが、生態系の概要など、準備できる部分から具体的な原稿や図の案を示していただければと思います。現時点では、大まかな構成を大きく変更することはあまり想定されていないと思いますので、その構成に沿って、どのような内容や図を掲載するかを具体的に示し、検討を進める方が建設的ではないかと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
次回の策定検討部会は１月でしょうか。開催回数も限られていますので、間に合うようであれば、次回に具体的な案をお示しいただければと思います。さまざまな検討課題が挙がりましたので、なかなか大変かとは思いますがよろしくお願いします。

【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）
第５章についての議論を伺う中で、何を掲載する章なのかが少し曖昧になってきたように感じました。
以前のご説明では、まずホットスポットを挙げ、それらを生態系の種類ごとに分類して紹介するという認識でした。その場合、森林などの区分はホットスポットを整理した結果として設けるものであり、軽井沢町の生態系を網羅的に紹介する趣旨ではないと理解していますが、それでよろしいでしょうか。
逆に、町内の生態系を網羅的に整理し、その中でホットスポットを紹介するのであれば、先ほどの市街地や別荘地の扱いなども検討する必要があると思います。どちらの考え方を想定しているのか、確認させてください。

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●●）
第５章については、具体的な内容をまとめ、委員の皆様にご確認いただきながら検討を進める必要があると考えています。生態系をどの程度の区分で整理するかについても、紹介する代表的な場所の数や情報を踏まえて精査していきます。まずは、河川、池沼、湿地など、対象となる場所が比較的限られ、整理しやすいところから案を作成したいと考えています。
また、他の章との掲載内容の分担や、章の名称についても検討していきます。当初は「重要な自然環境」という名称を考えていましたが、重要な植物群落との違いが分かりにくいといった意見もあり、現在の

タイトル案となっています。
具体的な案がなければご意見を頂くことも難しいと思いますので、次回の会議までに、少なくともサンプルをお示しし、より具体的にご意を頂けるよう準備したいと考えています。よろしくお願いいたします。

【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）
あまり複雑に考えず、第５章はホットスポットを紹介する章とすれば、分かりやすいと思います。生態系について詳しく紹介するのであれば、第２章や第３章で扱う方が、全体の流れもすっきりし、執筆もしやすくなるのではないかと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）
現在の調査結果をまとめる中で、第５章の構成を再検討する必要が出てくるかもしれません。【Ｈ委員】（●●●●●●●●●）のご意見も踏まえ、第２章と第５章のどちらに掲載するかについても、今後整理しながら進めていただければと思いますが、よろしいでしょうか。
それでは、他にご意見がなければ、次の議題「（４）その他」に進みます。よろしくお願いします。

（４）その他

【受託者Ａ】（●●●●●●●●●●●●●●●●）
「その他」の資料として、資料４と資料５をご用意しています。時間も限られていますので、概要をご説明します。
資料４－１には、これまでの現地調査について、実施時期や調査場所を、調査状況の写真とともに掲載しています。
資料４－２は、今年度、レッドデータブックに関連して開催した２回の自然観察会の報告です。一部の委員の皆様にもご協力いただき、第１回は６月27日に【自然環境】（●●●●●●●●●）で、草原の昆虫と植物を対象とした観察会を開催しました。第２回は、【地区】（●●）の田んぼや水路で、水生生物を中心とした観察会を開催しました。
参加者の皆様に考えていただくための資料も用意し、いずれも盛会となりました。２ページには当日の写真を掲載し、アンケート結果も添付していますので、ご覧いただければと思います。皆様には、自然環境やレッドデータブックについて、前向きに学んでいただけたと感

じています。川や田んぼに入ることは、こうした機会でなければ難しい面もあると思いますが、子どもたちも楽しそうに参加していました。
資料５には、今後のスケジュールとして、今年度後半の会議予定などを示しています。来年度は、先ほどの議題でもご説明したとおり、策定作業を進めるとともに、イベントや講演会の開催を予定しています。
資料の説明は以上です。

【部会長】（●●●●●●●●）
ご報告ありがとうございました。事務局から何かありますか。

【事務局Ｃ】（●●●●●●●●●）
次回の策定検討部会は令和９年１月12日（火）に開催しますので、よろしくお願いいたします。

【部会長】（●●●●●●●●）
それでは、本日の議題は以上で終了します。それでは、進行を事務局にお返しします。

６．閉会

【事務局Ａ】（●●●●●●）
進行ありがとうございました。以上をもちまして、軽井沢町版レッドデータブック策定検討部会を終了します。ご協力いただき、ありがとうございました。

以上